

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成27年5月14日 (2015.5.14)

【公開番号】特開2012-257210(P2012-257210A)

【公開日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-105342(P2012-105342)

【国際特許分類】

H 0 3 K 3/356 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

H 0 1 L 21/8234 (2006.01)

H 0 1 L 27/088 (2006.01)

【F I】

H 0 3 K 3/356 Z

H 0 1 L 29/78 6 1 8 B

H 0 1 L 29/78 6 1 3 Z

H 0 1 L 27/08 1 0 2 E

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月25日 (2015.3.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のレジスタ構成回路と、第 1 のトランジスタと、を有し、

前記第 1 のレジスタ構成回路は、第 1 の端子と、第 2 の端子と、第 1 の NOR 回路と、第 2 のトランジスタと、第 1 のバッファ回路と、を有し、

前記第 1 の NOR 回路は、第 1 の入力端子、第 2 の入力端子、及び第 1 の出力端子を有し、

前記第 1 のバッファ回路は、第 3 の入力端子及び第 2 の出力端子を有し、

前記第 1 の端子は、前記第 1 のトランジスタのソースまたはドレインの一方、前記第 2 のトランジスタのソースまたはドレインの一方、及び前記第 3 の入力端子と電氣的に接続され、

前記第 1 のトランジスタのソースまたはドレインの他方には、データ信号が入力され、

前記第 1 のトランジスタのゲートには、前記第 1 の入力端子に入力される信号が反転した信号が入力され、

前記第 2 の端子は、前記第 2 のトランジスタのソースまたはドレインの他方と電氣的に接続され、

前記第 1 の出力端子は、前記第 2 のトランジスタのゲートと電氣的に接続され、

前記第 1 のトランジスタ及び前記第 2 のトランジスタは、それぞれ酸化物半導体層にチャネル形成領域を有することを特徴とする半導体装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

第 3 のトランジスタをさらに有し、

前記第 3 のトランジスタのソースまたはドレインの一方は、前記第 1 のトランジスタのソースまたはドレインの一方と電氣的に接続され、

前記第３のトランジスタのソースまたはドレインの他方は、定電位電源線と電氣的に接続され、

前記第３のトランジスタのゲートには、リセット信号が入力されることを特徴とする半導体装置。